

安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称	Decanoic Acid <Capric Acid>
コンポーネント名	
商品コード	SRL社 商品コード:D-26
供給者の会社名称	フナコシ株式会社
住所	東京都文京区本郷2-9-7
担当部門	コンプライアンス管理部
電話番号	03-5684-5107
FAX番号	03-5802-5218
推奨用途及び使用上の制限	研究用試薬
整理番号	OTH0262V00 (2016/10/24)

2. 危険有害性の要約(以下、SDSは単一物質としての評価に基づき作成)

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物 分類対象外 可燃性又は引火性ガス(化学的に不安定なガスを含む) 分類対象外 エアゾール 分類対象外 支燃性又は酸化性ガス 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 分類対象外 可燃性固体 分類できない 自己反応性化学品 分類対象外 自然発火性液体 分類対象外 自然発火性固体 区分外 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類対象外 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類対象外 有機過酸化物 分類対象外 金属腐食性物質 分類できない
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 急性毒性(吸入:気体) 分類対象外 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない 急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない 急性毒性(吸入:ミスト) 分類できない 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 区分外 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分外
環境有害性	吸引性呼吸器有害性 分類できない 水生環境有害性(急性) 区分3 水生環境有害性(長期間) 区分3 オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素

絵表示
R



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H315 皮膚刺激
H318 重篤な眼の損傷
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き
安全対策

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

取扱い後はよく眼と手を洗うこと。(P264)

環境への放出を避けること。(P273)

応急措置

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)

眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。(P305+P310)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362)

保管
廃棄

情報なし。

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

他の危険有害性
重要な徴候及び想定される非常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名
別名

単一製品

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
デカン酸	100%	C10H20O2	(2)-608		334-48-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし。

以下、該当する単一成分のSDSを記載する。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合	<p>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>口をすすぐこと。</p> <p>気分が悪い時は、医師に連絡すること。</p> <p>眼と皮膚を中等度から重度に刺激する。</p>
<p>急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状</p> <p>応急措置をする者の保護</p> <p>医師に対する特別な注意事項</p>	<p>データなし</p> <p>データなし</p>
<p>5. 火災時の措置</p> <p>消火剤</p>	<p>水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。</p> <p>棒状注水。</p> <p>火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。</p> <p>熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。</p> <p>激しく加熱すると燃焼する。</p> <p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。</p> <p>安全に対処できるならば着火源を除去すること。</p> <p>適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。</p>
<p>使ってはならない消火剤</p> <p>特有の危険有害性</p>	
<p>特有の消火方法</p>	
<p>消火を行う者の保護</p>	
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p>	<p>作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。</p> <p>全ての着火源を取除く。</p> <p>密閉された場所に立入る前に換気する。</p> <p>環境中に放出してはならない。</p> <p>河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。</p> <p>水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。</p> <p>危険でなければ漏れを止める。</p> <p>漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。</p> <p>すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。</p> <p>プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	
<p>封じ込め及び浄化の方法及び機材</p>	
<p>二次災害の防止策</p>	
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い</p>	
<p>技術的対策</p>	<p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。</p> <p>眼、皮膚との接触、飲み込まないこと。</p> <p>環境への放出を避けること。</p> <p>「10. 安定性及び反応性」を参照。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
<p>安全取扱注意事項</p>	
<p>接触回避 衛生対策</p>	
<p>保管</p>	
<p>安全な保管条件</p>	<p>熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。</p> <p>冷所、換気の良い場所で保管すること。</p> <p>容器を密閉して保管すること。</p>
<p>安全な容器包装材料</p>	<p>包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。</p>
<p>8. ばく露防止及び保護措置</p>	

化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
デカン酸	未設定	未設定	未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。
適切な保護衣、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

9. 物理的及び化学的性質
外観

物理的状態
形状
色

臭い

臭いのしきい(閾)値

pH

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

引火点

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

燃焼性(固体、気体)

燃焼又は爆発範囲

蒸気圧

蒸気密度

比重(密度)

溶解度

結晶

白色

不快臭

データなし

データなし

31.4℃

270℃

> 112℃(密閉式)

データなし

データなし

0.8~5.5vol.%(推定値)

0.00003mmHg(25℃)(外挿値)

データなし

0.8782(50.4℃)

水:0.015g/100g(20℃)

ベンゼン、シクロヘキサン、エタノール、イソプロピルアルコール、アセトン、氷酢酸、メタノール、酢酸エチルに可溶。

log Pow = 4.09

n-オクタノール/水分配

係数

自然発火温度

分解温度

粘度(粘性率)

動粘性率

193℃

データなし

データなし

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

強酸化剤と反応する。

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

加熱すると分解する。

加熱、混触危険物質との接触。

塩素酸ナトリウム、過塩素酸ナトリウム、過酸化水素、硝酸アンモニウム、硝酸ナトリウムなどの強酸化剤。

危険有害な分解生成物

その他

情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

類推値
実測値

経口	ラットを用いた経口投与試験のLD50 = 3301mg/kg (JECFA(1998))から、区分外とした。
経皮	ウサギを用いた経皮投与試験のLD50 = > 5000mg/kg(PATTY 5th(2001))から、区分外とした。
吸入(蒸気)	ラットの8時間飽和蒸気ばく露で、死亡はみられない(PATTY 5th(2001))と記述されている。 飽和蒸気圧濃度(25°C) = 0.0003mg/Lから、LC50 = > 0.0003mg/Lと推定される。この値は蒸気基準の区分1の範囲にあるが、区分を特定できないことから、分類できないとした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギの4~24時間投与試験でmoderately to severely irritating(IUCLID(2000))と記述されていることから、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	ウサギの眼刺激性試験で角膜混濁、結膜や虹彩の強い損傷がみられる(IUCLID(2000))と記述されている。 また、ウサギの角膜への損傷はレベル9(最高は10)であり、72時間後にはレベル10になる(HSDB(2002))と記述されている。 以上の記述から、区分1とした。
呼吸器感受性又は皮膚 感受性	呼吸器感受性: データなし 皮膚感受性: ヒトに対するパッチテストで皮膚感受性はみられない(PATTY 5th(2001)、IUCLID(2000))、20匹のモルモットを用いたBuehler試験で皮膚感受性を示さない(IUCLID(2000))との記述から、区分外とした。
生殖細胞変異原性	In vitroの細菌を用いたAmes試験で陰性(PATTY 5th(2001)、NTP DB(Access on September 2008))と記述されているが、in vivo試験のデータがないことから、分類できないとした。
発がん性	ラットを用いた経口投与試験において、発がん性の証拠は報告されていない(PATTY 5th(2001))と記述されているが、主要な国際的評価機関による評価もないことから、データ不足のため分類できないとした。
生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回 ばく露)	データなし ラットを用いた経口投与試験で、過度の流涎や下痢、さらに高投与量(10g/kg)で神経筋制御の減退、中枢神経系の抑制がみられる(IUCLID(2000))と記述されているが、区分2のガイダンス値を超える投与量での症状であり、データ不足のため分類できないとした。
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)	ラットを用いた150日間経口投与試験において、胃への影響はみられない(PATTY 5th(2001))と記述されている。 また、イヌを用いた102日間経口投与試験において、内臓重量、肝臓、腎臓への影響はみられない(IUCLID(2000))と記述されている。 いずれも区分2のガイダンス値の範囲外の投与量で影響がみられていないので、区分外とした。
吸引性呼吸器有害性 有害性その他	データなし
12. 環境影響情報 水生環境有害性(急性)	藻類(<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>)の72時間EC50 = 12mg/L(環境庁生態影響試験(1998))から、区分3とした。

水生環境有害性(長期間)

急性毒性区分3であり、急速分解性に関するデータがなく、生物蓄積性がある(log Pow = 4.09 (PHYSPROP Database(2008)))と推定されることから、区分3とした。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性
環境影響その他

情報なし。
情報なし。
情報なし。
情報なし。
データなし

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

本品を廃棄する際には、国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。
廃棄処理中に皮膚に触れたり、粉じん、蒸気やミストを吸入しないよう十分注意すること。
情報なし。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
UN No.
Proper Shipping Name
Class
Sub Risk
Packing Group
Marine Pollutant Not Applicable
Transport in bulk Not Applicable
according to
MARPOL
73/78,Annex II,and
the IBC code.
航空規制情報
UN No.
Proper Shipping Name
Class
Sub Risk
Packing Group

該当しない。

Not Applicable
Not Applicable

該当しない。

国内規制

陸上規制情報
海上規制情報
国連番号
品名
国連分類
副次危険
容器等級
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質
航空規制情報
国連番号
品名
国連分類
副次危険
等級

該当しない。
該当しない。

非該当
非該当

該当しない。

特別の安全対策
緊急時応急措置指針番号

なし

15. 適用法令

化学物質排出把握管理
促進法 (PRTR法)

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1
条別表第1)

デカン酸 政令番号:256

1質量%以上を含有する製品。

16. その他の情報

参考文献

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

日本ケミカルデータベース ezCRIC

安全衛生情報センター GHS対応モデルMSDS

神奈川県環境科学センター 化学物質安全情報提供システム(kis-net)

化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

その他

◆危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分
注意して下さい。

◆本データシートは情報を提供するもので、記載内容を保証する
ものではありません。

◆表記の試験研究用試薬以外に本データシートを適用しないで下さい。

◆輸送中、保管中、廃棄後も含めて、内容物や容器が、製品知識を
有しない者の手に触れぬよう、厳重に注意して下さい。